

# すべての人にやさしく、暮らしやすいまちへ



知っていますか？

## まちのユニバーサルデザイン

会津若松市では、年齢や性別、身体的能力、言語などの違いに関わらず「すべての人にやさしく、暮らしやすいまち」の実現を目指して、平成19年度からユニバーサルデザインのまちづくりに取り組んでいます。

「ユニバーサルデザインって何？」と思った人も、既に知っている人も、この特集を通して、ユニバーサルデザインの考え方や、まちづくりにユニバーサルデザインを取り入れることで、どのように毎日の暮らしが変わっていくかを一緒に考えてみましょう。そして、一人ひとりにできることから、すべての人にやさしく、暮らしやすい「ユニバーサルデザインのまちづくり」を始めてみませんか？

●問い合わせ…協働・男女参画室(☎39-1405)

※今号発行後に、新型コロナウイルスの影響で催しなどが中止になる場合があります

### ゼロカーボンシティ 会津若松をみんなで実現！

温室効果ガスを減らすため、私たち一人ひとりにできることを考えてみましょう  
●問い合わせ…環境生活課(☎39-1221)

#### 「エコドライブ」

「エコドライブ」は、燃料の消費量や温室効果ガスの排出量を減らして、地球温暖化防止につながる「運転技術」や「心がけ」を表す言葉です。

▶取り組みの例…◎発進時は緩やかにアクセルを踏む◎減速時は早めにアクセルを離す◎車間距離にゆとりをもって、加速・減速が少ない運転をする◎不要な荷物を降ろす など

エコドライブは、財布や地球にやさしいだけでなく、自身や同乗者にもやさしい安心・安全な運転です。車を緩やかに発進させた場合、燃費は1割程度も改善するといわれています。皆さんも「エコドライブ」の取り組みを始めてみませんか。

#### 人口と世帯数

令和4年8月1日現在の現住人口	
人口総数	114,809人(71人減)
内訳	男 55,015人(14人減)
	女 59,794人(57人減)
世帯数	49,293世帯(17世帯増)
人口の動き (7月)	出生 44人(男18人・女26人)
	死亡 119人(男50人・女69人)
	転入 225人(男126人・女99人)
	転出 221人(男108人・女113人)

※福島県の推計人口より掲載

▶令和4年8月1日現在の外国人住民数(住基人口)…919人(男399人・女520人)

◇問い合わせ…情報統計課(☎39-1215)

#### 今月の納期

10月31日(月)は以下の税金・料金の納期限です。

●市県民税第3期●国民健康保険税第4期●介護保険料第4期●後期高齢者医療保険料第3期  
◇問い合わせ…納税課(☎39-1233)、国保年金課(☎39-1248)、高齢福祉課(☎39-1242)

## 目次

- 2 ゼロカーボンシティ会津若松をみんなで実現！
- 3 知っていますか？  
まちのユニバーサルデザイン
- 8 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ
- 12 「スマートシティ会津若松」が目指す新しいステージ
- 14 あいづまちなかアートプロジェクト
- 16 【くらし情報拡大版】
- 21 【いろいろ市政情報】
- 22 【子育て情報ステーション】
- 24 【健康だより】
- 26 【みんなのページ】
- 28 【くらし情報あらかると】
- 34 【あれこれカレンダー】
- 35 【今月の病院情報】

#### 編集に寄せて

▶巻頭のユニバーサルデザイン特集を担当しました。「あ、これもユニバーサルデザインだな」と気付くことが多くなり、多様な人のことを考えてつくられたモノやサービスが多いことに驚いている今日このごろです。▶一度、意識してみると、見える風景も変わってくるかと思えます。今回の特集がそのきっかけになればうれしいです。(東海林)

## 会津若松市の取り組みを紹介

市では、今年3月に策定した「第4回会津若松市ユニバーサルデザイン推進プラン」に基づき、市政のさまざまな分野でユニバーサルデザインを推進しています。このプランでは、時代と共に多様化するニーズなどを踏まえて、以下の4つの重点事項に取り組んでいます。

### ユニバーサルデザインに対する理解促進

市民の皆さんにユニバーサルデザインの考え方を知ってもらうため、ユニバーサルデザインに関する学習の機会を設けるほか、ホームページなどで情報発信に取り組んでいます。



毎年、ユニバーサルデザインをテーマとした講演会やワークショップを開催し、考え方を学べる場をつくっています

### 「こころのユニバーサルデザイン」の推進

多様化が進む社会において、誰もが自分らしく暮らせるよう、一人ひとりがお互いの違いを受け入れ、認め合う「こころのユニバーサルデザイン」の意識や行動を推進しています。



小学5・6年生を対象に、性別に捉われずにお互いの違いを認め合うことの大切さを学ぶ出前授業「子ども人生講座」を実施しています

### ICT、IoT、AIなどのさまざまな分野への活用による利便性の向上

「スマートシティ会津若松」の取り組みのもと、ICTなどを活用して生活をより便利・快適にしていくと共に、誰もがその利便性を感じられるまちづくりを進めています。



市民課の窓口などに、職員が申請内容を聞き取ってタブレット端末に入力する「ゆびナビシステム」を導入し、申請書記入の負担軽減に取り組んでいます

### 安全・安心で快適なまちづくり

誰もが安全・安心で、快適に暮らせるよう、ユニバーサルデザインに対応した道路や公共建築物などの整備や、すべての人にとって分かりやすい情報発信などに取り組んでいます。



公共施設などを整備する際には、段差の解消や広いスペースの確保など、誰でも安全で快適に利用できる工夫をしています(行仁小学校)

# すべての人が使いやすく——。ユニバーサルデザインという考え方



市ユニバーサルデザインキャラクター「ゆいばくん」

#### ユニバーサルデザインとは？

「ユニバーサルデザイン」とは、「はじめから、多様なニーズを考えながら、年齢や性別、身体的能力、言語などの違いに関わらず、すべての人にとって、安全・安心で利用しやすいように、建物や製品をつくり、情報やサービスなどを提供したりする」という考え方のことです。

#### ユニバーサルデザインの特徴

- ①すべての人が対象  
例えば、高齢の人や障がいのある人だけでなく、性別や年齢などのあるゆる違いに関わらず、すべての人にとって使いやすいモノやサービスを目指します。
- ②はじめからの発想  
モノやサービスをつくる前の段階から、あらゆる人の利用を想定することで、はじめからバリア(障壁)をつくらないようにします。
- ③終わりのない取り組み  
一度つくったら終わりではなく、変化するニーズを捉えて、少しでも多くの人が利用しやすいモノやサービスを目指して改善を続けます。

#### どうして必要なの？

近年、少子高齢化や国際化の進展とともに、本市に暮らす人や訪れる人の生活様式や価値観の多様化が進

んでいます。

こうした状況から、誰もが地域の中でいきいきと安心して快適に生活することができるよう、ユニバーサルデザインを取り入れた社会の実現が求められています。

#### こころのユニバーサルデザイン

誰もが住みやすいまちをつくるために、私たちが一人ひとりが心の中にユニバーサルデザインの意識を持つことが何より大切です。多様な人が暮らす社会で、お互いの個性を認め合い、その特性を理解しましょう。その上で、「困ったときはお互い様」の気持ちで助け合うこと、そして不便なことや困りごとを根本から解決するために行動していくことで、まちの中から一つずつ不便や不平等を減らしていくことができます。

できることから行動に移して、誰もが暮らしやすいまちを一緒につくっていきませんか？

▼取り組みの例：◎他者の個性や立場、状況への理解を深め、思い込みや偏見をなくす◎後から使う人のことも考え、みんなで使う物や場所をきれいに使う◎家庭や職場、学校で一人ひとりの個性や意見を大切にしみんがより快適に過ごすための話し合いをしてみる など

#### 十分なスペースを確保する



広いスペースの多目的トイレ

どんな体格・姿勢・移動能力の人にも使いやすい、広いスペースがあると安心です

#### 無理なく楽に使用できる



手をかざすと消毒液が出る機器

無理な力を加えることなく、誰にでも、楽に利用することができます

#### うっかりミスにつながらない



車の出庫を知らせるランプ

光や音など複数の方法で警告を伝えて、事故につながらないようにしています

#### 必要な情報がすぐに分かる



ピクトグラム(絵文字)

一目見て意味が分かる絵や図などで表すことで、誰でも情報を伝えることができます

#### 使い方が簡単に分かる



押す部分が大きな照明スイッチ

シンプルなデザインで、使ったことがない人でも、簡単に利用できます

#### 使う上で自由度が高い



高さの異なる水飲み場

高さが異なるので、身長や目線の高さによって使う人が自由に選んで利用できます

#### 誰でも公平に利用できる



エレベーター

どのような状況の人にも使いやすく、誰でも利用できるようにつくられています

身の回りにあるユニバーサルデザインのポイント

# 見つけてみよう！ まちなかのユニバーサルデザイン

6・7月に開催したワークショップでは、多様な参加者の皆さんとのユニバーサルデザインを発見するまち歩きを行い、見つかったユニバーサルデザインを紹介します。



より歩きやすく！  
道路の工夫



車道と歩道の間に段差がなく、十分な歩道スペースを確保した道路整備を進めています。また、境目に色の違うレンガを敷いて、分かりやすくしています。

外国の人も安心  
多機能なバス停

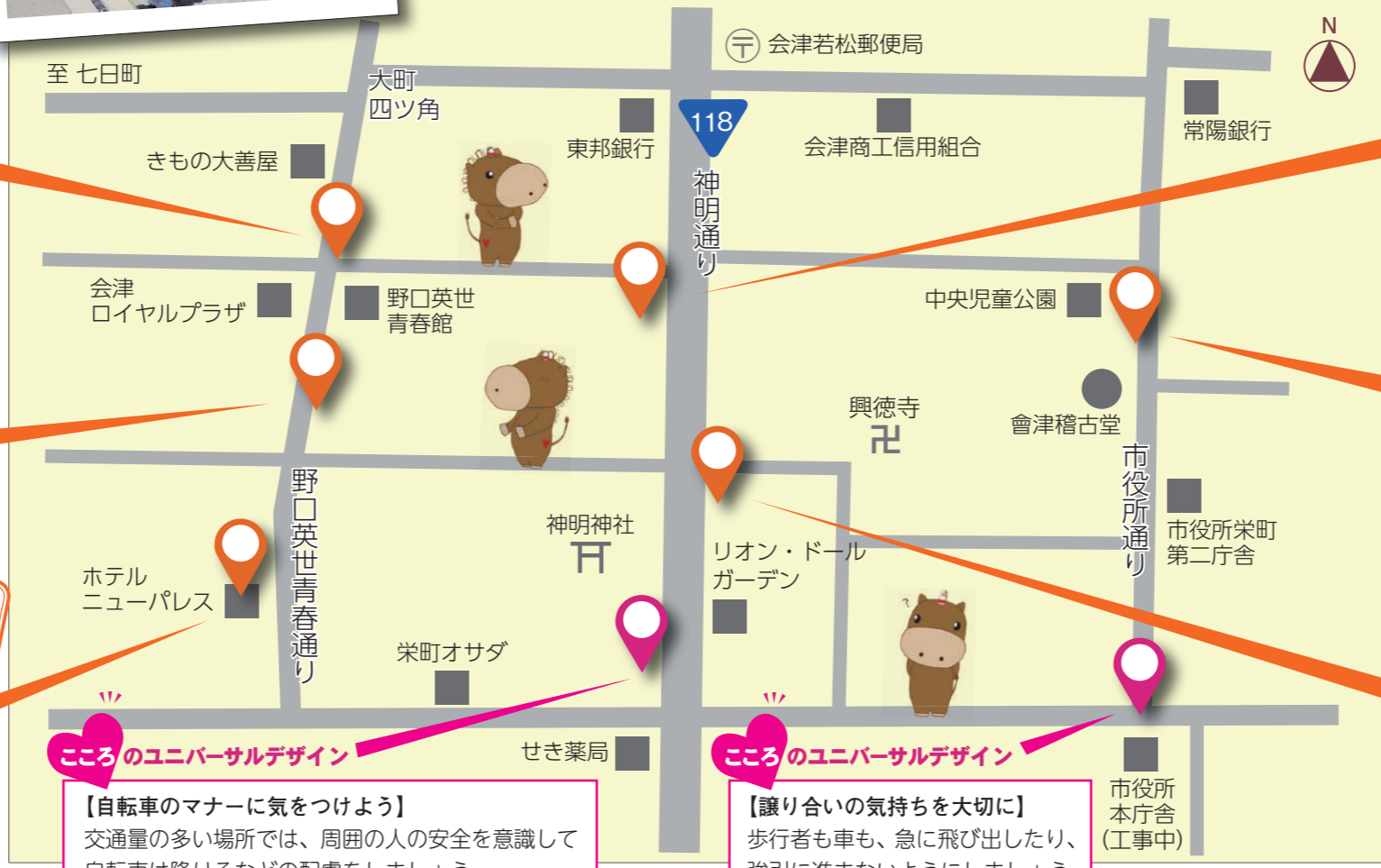


外国人も安心して利用できる多言語による案内表示や、QRコードを読み取るとバスの現在位置を把握できる「バスロケーションシステム」が導入されています。

まち歩きを快適に！  
6つのどうぞ運動



皆さんに気持ち良くまちなかを歩いてもらうため、賛同事業者の皆さんが、傘を貸し出す「どうぞ」などを行う「6つのどうぞ運動」に取り組んでいます。



ちょっと一休み…  
休憩ベンチ



買い物や観光など、まち歩きの際のちょっとした休憩に利用できるベンチが設置されています。

網目が細かい  
グレーチング



グレーチング(側溝などのふた)の網目を細かくすることで、つえの先端や車椅子の車輪などが挟まりにくくなっています。

音でもお知らせ  
音声信号



信号が青になった方角によって異なる音を出すことで、目が不自由な人も、安心して横断歩道を横断できます。

【自転車のマナーに気をつけよう】  
交通量の多い場所では、周囲の人の安全を意識して自転車は降りるなどの配慮をしましょう

【譲り合いの気持ちを大切に】  
歩行者も車も、急に飛び出したり、強引に進まないようにしましょう

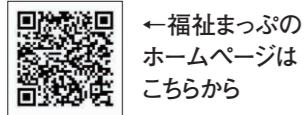
参加者の声

## 「会津若松市福祉まっぷ」をご利用ください！

高齢の人や障がいのある人、子ども連れの人など、どんな人でも安心してお出かけできるよう、主な施設の駐車場やトイレなどのバリアフリー情報を掲載した「会津若松市福祉まっぷ」をインターネットで公開しています。

●問い合わせ…地域福祉課 ☎39-1232

お出かけの前に、調べておくと安心だね！



## ほんのちょっとの気配りが本当にうれしい

「心のユニバーサルデザイン」という言葉は初めて聞きました。つまり「思いやりの心」のことですね。

目に障がいがある私は、外出も一苦労。そんなとき、「困っていることはありませんか?」という温かな声掛けが、すごく助かるんです。例えば信号を渡るとき、一人でも渡ることはできるけど、誰かに付き添いをお願いした方が安心だから。

ほんのちょっと気配りをして声を掛けてみる。それだけで、助かる人がたくさんいますし、みんながうれしい気持ちになりますよ。



一ノ瀬 ヨシさん

視覚障がい者同士で互いに助け合い、他の人の支援も受けて自律を目指す「視覚障がい者のリハビリをすすめる会 あい・つう」代表

## 多様な人の生の声が聞けて意識が変わった

ユニバーサルデザインの授業で取り組みの内容は知っていましたが、でも、点字ブロックを利用している人などから直接お話を聞いてみると、配慮してつくったはずのモノが、利用者の立場からは、実は使いづらく感じていたことがあったなど、初めて気付かされることもありました。

自分のことだけではなく、もっと多様な視点から物事を見れたときに、他者への思いやりが生まれるんだと思います。就職してからも、今回学んだユニバーサルデザインの考え方を生かしていきたいです。



門脇 京香さん

会津大学短期大学部でデザインを学んでいる。来春からは、学んでいることを生かして、建築業界への就職を予定している

## 誰かのために考えること自体が素敵なこと

ワークショップに参加して、実は身の回りにユニバーサルデザインがあふれていたことに驚きました。

ワークショップでは、一人ひとりが自分以外の人のことも考えながら、暮らしやすいまちづくりについて話し合いました。そうしてみんなで考えていると、会場がどこか優しい空間になっていたような気がして…。少しの間でも、他者のことを考えてみることで自分もとても素敵なことなんですね。一人ひとりのさりげない気遣いで、みんなが快適に暮らせるまちになればいいと思います。



庄司 梓さん

カフェアンドデリ・マルク「CAFE&DELI-MARU(一箕町亀賀)」店長。「障がいを持った仲間と一緒に働くカフェ」として、障がい者の就業支援も行っている